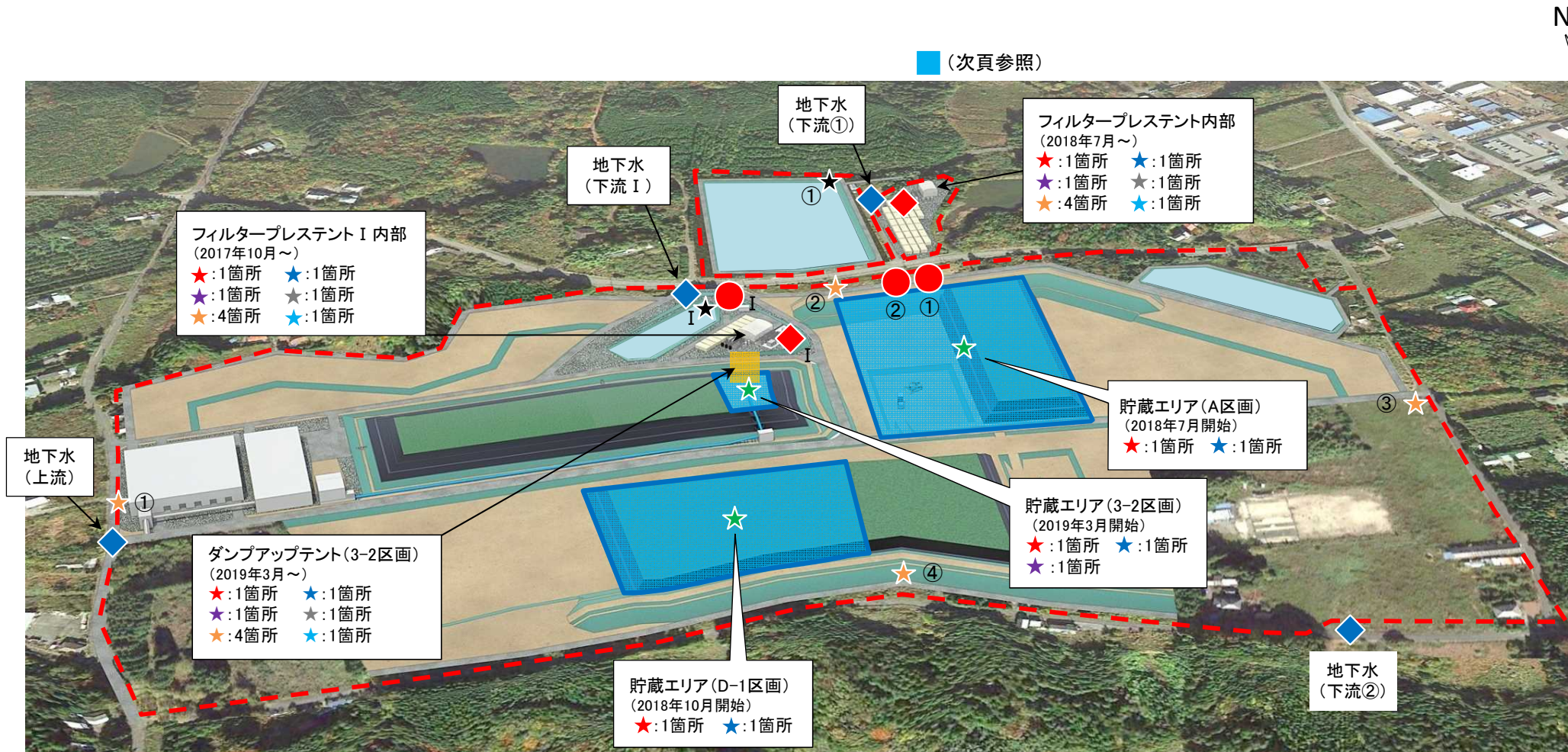
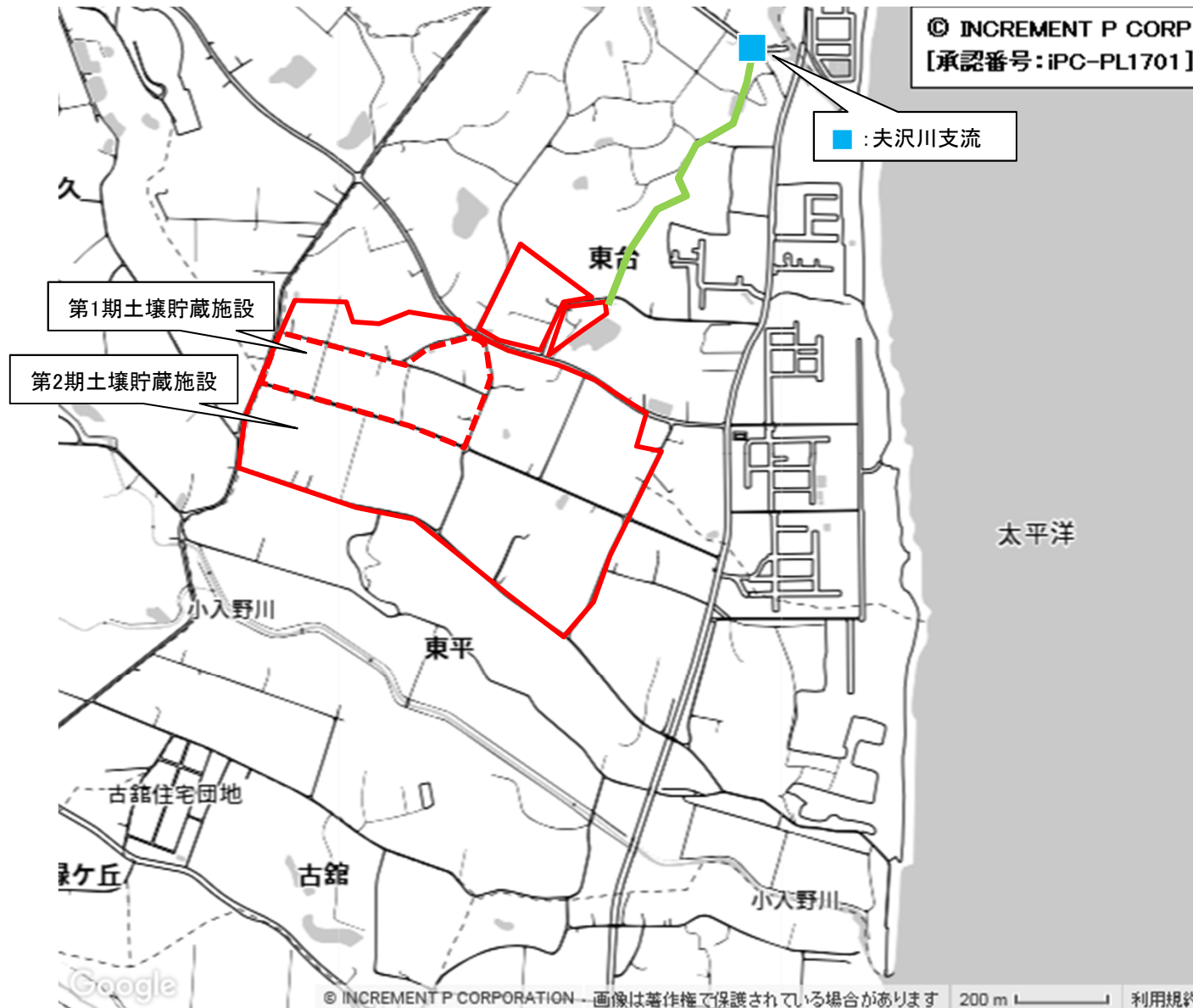


土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)①



凡例		
◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等	● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度	◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量	■ : 放流先河川の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	★ : 空気中の放射能濃度	★ : 表面汚染密度(床)
★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)	★ : 表面汚染密度(設備)	★ : 表面汚染密度(重機)
--- : 敷地境界線		

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)②



凡例

■ : 河川水観測地点 — : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/10	(稼働前)	13	13
	2019/3/7	(稼働後)	12	12
下流①	2018/7/11	(稼働前)	23	13
	2019/3/7	(稼働後)	23	13
下流②	2018/7/10	(稼働前)	17	5.7
	2019/3/7	(稼働後)	18	17
下流 I ※	2017/10/11	(稼働前)	19	6.5
	2019/3/7	(稼働後)	28	14

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の下流井戸。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5	(稼働前)	ND
	2019/3/15	(稼働後)	ND
集排水設備②	2018/10/15	(稼働前)	ND
	2019/3/15	(稼働後)	ND
集排水設備 I ※	2017/10/5	(稼働前)	ND
	2019/3/7	(稼働後)	ND

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の集排水設備。

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定地点	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
処理水	2019/3/7	7.6	33	49	3
処理水 I ※	2019/3/7	8.2	7.4	19	<1

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

pH基準：5.8～8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

測定地点	放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
			最小値	最大値		
処理水	2019/3/1 ～2019/3/29	12	0.0	1.5	ND	315.4
処理水 I ※	2019/3/2 ～2019/3/30	25	0.0	2.9	ND	611.3

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2019/3/7		11
沈砂池 I ※	2019/3/7		12

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の沈砂池。

SS基準：60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値：1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
夫沢川支流	2018/7/10	(稼働前)	ND	5.0
	2019/3/1	(稼働後)	ND	1.1

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	2019/3/7,8,26 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
貯蔵エリア(A区画)	0.3
貯蔵エリア(D-1区画)	0.3
貯蔵エリア(3-2区画)	0.5
ダンブアップテント(3-2区画)	1.8
フィルタープレセント	ND
フィルタープレセント I ※	ND

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設のフィルタープレセント。

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/3/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(A区画)	0.82
貯蔵エリア(D-1区画)	0.66
貯蔵エリア(3-2区画)	3.30
ダンブアップテント(3-2区画)	0.73
フィルタープレセント	0.78
フィルタープレセント I ※	1.52

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設のフィルタープレセント。

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/15 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
貯蔵エリア(3-2区画)	ND
ダンブアップテント(3-2区画)	ND
フィルタープレセント	ND
フィルタープレセント I ※	ND

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設のフィルタープレセント。

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2019/3/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
貯蔵施設境界	境界①		ND
	境界②		ND
	境界③		ND
	境界④		ND
ダンブアップテント (3-2区画)	床	(3-2)-①	ND
		(3-2)-②	ND
	壁	(3-2)-③	ND
		(3-2)-④	ND
		ベルトコンベア	ND
		①	ND
フィルタープレセント	壁	②	ND
		③	ND
		④	ND
		フィルタープレス	ND
フィルタープレセント I ※	床	I-①	ND
		I-②	ND
		I-③	ND
		I-④	ND
貯蔵エリア(A区画)	設備	フィルタープレス1	ND
		重機	
		バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	ローラーA	ND
		ブルドーザーA-①	ND
		ブルドーザーA-②	ND
		バックホウD-①	ND
貯蔵エリア(3-2区画)	重機	ローラーD	ND
		ブルドーザーD	ND
		バックホウ(3-2)-①	ND
		ローラー(3-2)	ND
		ブルドーザー(3-2)	ND

※旧第1期大熊②工区土壌貯蔵施設のフィルタープレセント。

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2019/2/7 (稼働後)		12	11
下流①	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2019/2/7 (稼働後)		22	13
下流②	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2019/2/7 (稼働後)		20	16

地下水(井戸)の上流は、第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の上流井戸を兼用しているためデータは同一。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2019/2/15 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2019/2/15 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日				
2019/2/7	7.8	13	33	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/2/2 ~2019/2/27	10	0.0	0.9	ND	251.2

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2019/2/7		5

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2019/2/7 (稼働後)		ND	4.9

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/2/8 (稼働後)
	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(A区画)	0.3
貯蔵エリア(D-1区画)	0.2
フィルタープレセント	ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/2/14 (稼働後)
	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(A区画)	0.79
貯蔵エリア(D-1区画)	0.47
フィルタープレセント	0.88

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/14 (稼働後)
	放射能濃度 (Bq/cm³)
フィルタープレセント	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/2/14 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
フィルタープレセント	床	ND	
	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア(A区画)	重機	バックホウA-①	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	バックホウD-①	ND
		ローラーD	ND
		ブルドーザーD	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2019/1/10 (稼働後)		12	11
下流2(2)	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2019/1/10 (稼働後)		20	12
下流2(3)	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2019/1/10 (稼働後)		20	17

地下水(井戸)の上流2(1)は、第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の上流井戸を兼用しているためデータは同一。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2019/1/24 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2019/1/24 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質
	(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
測定日				
2019/1/10	7.9	0.6	12	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/1/7 ~2019/1/30	8	0.0	0.5	ND	194.6

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2019/1/11		2

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2019/1/10 (稼働後)		ND	1.3

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2019/1/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
	貯蔵エリア(A区画)
貯蔵エリア(D-1区画)	0.2
フィルタープレセント	0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/1/17 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
	貯蔵エリア(A区画)
貯蔵エリア(D-1区画)	0.56
フィルタープレセント	0.92

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/1/17 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
	フィルタープレセント

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2019/1/17 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
フィルタープレセント	床	①	ND
		②	ND
	壁	①	ND
		②	ND
貯蔵エリア(A区画)	設備	フィルタープレス	ND
		重機	バックホウA-①
	重機	ローラーA	ND
		ブルドーザーA	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	バックホウD-①	ND
		ローラーD	ND
		ブルドーザーD	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年12月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2018/12/6 (稼働後)		12	11
下流2(2)	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2018/12/6 (稼働後)		22	13
下流2(3)	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2018/12/6 (稼働後)		21	12

地下水(井戸)の上流2(1)は、第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の上流井戸を兼用しているのでデータは同一。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2018/12/17 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2018/12/17 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/12/6		7.5	0.9	14

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/12/1 ~2018/12/21	9	0.0	1.1	ND	238.8

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2018/12/6		1

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2018/12/6 (稼働後)		ND	1.8

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2018/12/7 (稼働後)	
	粉じん濃度 (mg/m³)	
貯蔵エリア(A区画)		ND
貯蔵エリア(D-1区画)		ND
フィルタープレセント		0.1

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/12/13 (稼働後)	
	空間線量率 (μSv/h)	
貯蔵エリア(A区画)		0.74
貯蔵エリア(D-1区画)		0.51
フィルタープレセント		1.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/12/13 (稼働後)	
	放射能濃度 (Bq/cm³)	
フィルタープレセント		ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点			2018/12/13 (稼働後)
			表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①		ND
	境界②		ND
	境界③		ND
	境界④		ND
フィルタープレセント	床	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
貯蔵エリア(A区画)	設備	フィルタープレス	ND
		バックホウA-①	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	バックホウD-①	ND
		ローラーD	ND
		ブルドーザーD	ND
			ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年11月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2018/11/1 (稼働後)		12	9.9
下流2(2)	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2018/11/1 (稼働後)		21	10
下流2(3)	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2018/11/1 (稼働後)		19	7.2

地下水(井戸)の上流2(1)は、第1期大熊②工区土壌貯蔵施設の上流井戸を兼用しているのでデータは同一。

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2018/11/15 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2018/11/15 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/11/1		7.3	0.8	9.9

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/11/1 ~2018/11/29	14	0.7	1.9	ND	375.9

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2018/11/1		3

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2018/11/1 (稼働後)		ND	2.5

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(A区画)	2018/11/1 (稼働後)	0.1
貯蔵エリア(D-1区画)		1.0
フィルタープレセント		0.2

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目	
	測定日	空間線量率 (μSv/h)
	2018/11/15 (稼働後)	
貯蔵エリア(A区画)		0.82
貯蔵エリア(D-1区画)		0.89
フィルタープレセント		0.86

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	放射能濃度 (Bq/cm³)
	2018/11/15 (稼働後)	
フィルタープレセント		ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		2018/11/15 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
	測定日		
貯蔵施設境界		境界①	ND
		境界②	ND
		境界③	ND
		境界④	ND
フィルタープレセント	床	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
フィルタープレセント	壁	①	ND
		②	ND
貯蔵エリア(A区画)	設備	フィルタープレス	ND
		重機	バックホウA-①
貯蔵エリア(A区画)	重機	ローラーA	ND
		ブルドーザーA	ND
		バックホウD-①	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	バックホウD-②	ND
		ブルドーザーD	ND
			ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年10月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2018/10/4 (稼働後)		13	13
下流2(2)	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2018/10/4 (稼働後)		22	13
下流2(3)	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2018/10/4 (稼働後)		17	11

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2018/10/15 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2018/10/25 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2018/10/4		7.8	0.9	9.8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/10/1 ~2018/10/30	37	0.0	2.3	ND	889.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定項目		浮遊物質 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2018/10/4		ND

SS基準: 60mg/L

NDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2018/10/4 (稼働後)		ND	6.0

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(A区画)	2018/10/11, 24 (稼働後)	ND
貯蔵エリア(D-1区画)		ND
フィルタープレセント		ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目	
	測定日	空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア(A区画)	2018/10/24 (稼働後)	0.68
貯蔵エリア(D-1区画)		0.85
フィルタープレセント		1.00

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア(A区画)	2018/10/24 (稼働後)	ND
フィルタープレセント		ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		
	測定日	表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
フィルタープレセント	床	① ND	
	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア(A区画)	重機	バックホウA-①	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA	ND
貯蔵エリア(D-1区画)	重機	バックホウD-①	ND
		ブルドーザーD	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年9月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10 (稼働前)		13	13
	2018/9/6 (稼働後)		13	12
下流2(2)	2018/7/11 (稼働前)		23	13
	2018/9/6 (稼働後)		22	12
下流2(3)	2018/7/10 (稼働前)		17	5.7
	2018/9/6 (稼働後)		20	8.6

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2018/9/18 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考) 放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定項目	測定項目			
	水素イオン濃度 (pH)	生物学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
測定日				
2018/9/6	7.5	ND	5.1	1

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/9/3 ~2018/9/29	77	0.0	4.4	ND	2082

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定項目		浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	測定日		
沈砂池①	2018/9/18		31

SS基準: 60mg/L

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
	2018/9/6 (稼働後)		1.3	9.0

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア(A区画)	2018/9/6,7 (稼働後)	0.1
フィルタープレセント		0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定項目	
	測定日	空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア(A区画)	2018/9/14 (稼働後)	0.60
フィルタープレセント		1.15

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目	
	測定日	放射能濃度 (Bq/cm³)
フィルタープレセント	2018/9/14 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点	測定項目		測定日 (稼働後)	表面汚染密度 (Bq/cm²)
	境界			
貯蔵施設境界	境界①		2018/9/14	ND
	境界②			ND
	境界③			ND
	境界④			ND
フィルタープレセント	床	①		ND
		②		ND
	壁	③		ND
		④		ND
設備	フィルタープレス			ND
	重機	バックホウ①		ND
貯蔵エリア(A区画)		ブルドーザー①		ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年8月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10	(稼働前)	13	13
	2018/8/2	(稼働後)	13	13
下流2(2)	2018/7/11	(稼働前)	23	13
	2018/8/2	(稼働後)	22	13
下流2(3)	2018/7/10	(稼働前)	17	5.7
	2018/8/2	(稼働後)	18	7.0

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5	(稼働前)	ND
	2018/8/22	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2018/8/3		8.2	0.5	2.3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2018/8/8 ~2018/8/10	44	1.7	2.9	ND	1450.8

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(5.85Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10	(稼働前)	ND	5.0
	2018/8/2	(稼働後)	ND	10

2018年8月2日以降は、第1期大熊②工区の測定値を掲載。

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2018/8/1 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
	貯蔵エリア(A区画)	
フィルタープレセント		0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	測定日	2018/8/30 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
	貯蔵エリア(A区画)	
フィルタープレセント		0.86

★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	2018/8/30 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
	フィルタープレセント	

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0×10^{-7} Bq/cm³, セシウム137: 5.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		測定日	2018/8/30 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界①		ND
	境界②		ND
	境界③		ND
	境界④		ND
フィルタープレセント	床	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
設備	フィルタープレス		ND
	重機		
貯蔵エリア(A区画)	バックホウ①		ND
	ブルドーザー①		ND

表面汚染密度検出下限値: 0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(第2期大熊②工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2018年7月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流2(1)	2018/7/10	(稼働前)	13	13
	2018/7/20	(稼働後)	13	14
下流2(2)	2018/7/11	(稼働前)	23	13
	2018/7/20	(稼働後)	22	13
下流2(3)	2018/7/10	(稼働前)	17	5.7
	2018/7/20	(稼働後)	17	6.6

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2018/7/5	(稼働前)	ND
	2018/7/23	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

(参考)放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

浸出水処理・放流実績はないため測定なし。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

浸出水処理・放流実績はないため測定なし。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
夫沢川支流	2018/7/10	(稼働前)	ND	5.0
	2018/7/20	(稼働後)	1.4	12

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

★粉じん濃度

測定地点	2018/7/20 (稼働後)	
	粉じん濃度 (mg/m ³)	
貯蔵エリア(A区画)	0.2	
フィルタープレセント	0.2	

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2018/7/20 (稼働後)	
	空間線量率 (μSv/h)	
貯蔵エリア(A区画)	0.56	
フィルタープレセント	1.01	

★空気中の放射能濃度

測定地点	2018/7/20 (稼働後)	
	放射能濃度 (Bq/cm ³)	
フィルタープレセント	ND	

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2018/7/20 (稼働後)			
		表面汚染密度 (Bq/cm ²)			
貯蔵施設境界	境界①	ND			
	境界②	ND			
	境界③	ND			
	境界④	ND			
フィルタープレセント	床	①	ND		
		②	ND		
		③	ND		
		④	ND		
	設備	フィルタープレス	ND		
		貯蔵エリア(A区画)	重機	バックホウ①	ND
				ローラ①	ND
				ブルドーザー①	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²